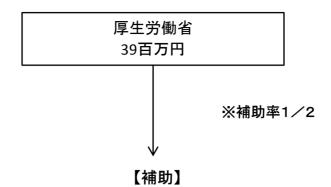
						争耒番号	50	
			行政	事業レビュ-	ーシート	(厚生	労働省)	
予算事業名		在宅医療推進支援事業		事業開始 年度	195	<b>丰度</b>	作成責任者	
担当部局庁		医政局		担当課室	政策医療課在	宅医療推進室	室長 山本 要	
会計区分		一般会計		上位政策	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		予算補助		関係する計 画、通知等		_		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)		高齢化の進行に伴い通院困難な患者が増え在宅医療の重要性が高まっていく中で、在宅患者がより快適な生活環境の中で医療が受けられるよう在宅医療全般にかかる相談・支援体制の整備、協議会の設置、人材の育成を行っていくことにより、地域における在宅医療の基盤整備を図っていく。						
事業概要 (5行程度以		都道府県が行う在宅医療推進事業(在宅医療推進支援センターの設置、在宅医療推進連絡協議会の設置、在宅医療 従事者研修の実施)について補助を行う。 基準額:(在宅医療推進支援センター事業)8,697千円/1か所、(在宅医療推進連絡協議会)762千円/1か所、(在宅医 療従事者研修)673千円/1か所 補助率:国1/2、都道府県1/2						
実施状況		平成21年度実施件数 在宅医療推進支援センターの設置 8件 在宅医療推進連絡協議会の設置 11件 在宅医療従事者研修の実施 26件						
			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
<b>予算の状況</b> (単位:百万円)		予算額(補正後)	129	112	79	59	9 0	
		執行額	24	35	39			
		執行率	18.6%	31.3%	49.4%			
		総事業費(執行ベース)	51	75	90			
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況							
	見直しの余地	予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に 反映してまいりたい。						
予算監視・効率化	平成22年度までの事業とされているところであり、平成22年度についても予算の効率的な執行が図られるよう努めること。							
補記								



A 都道府県 (23) 39百万円 (内訳 上位10者)

石川県 5百万円 広島県 5百万円 東京都 5百万円 山口県 5百万円 兵庫県 5百万円 千葉県 4百万円 宮城県 3百万円 三重県 1百万円 1百万円 高知県

資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円)

## 〇在宅医療推進支援センター事業

- ・在宅医療に関する国内外の情報収集及び情報提供
- ・患者・家族向け総合相談
- ・医療従事者向け相談
- ・講演会等の開催 など

## 〇在宅医療推進連絡協議会

- ・地域における在宅医療ネットワークの構築
- ・地域における患者ニーズの把握
- ・在宅医療の推進状況の評価 など

## 〇在宅医療従事者研修

・在宅医療に関する従事者(医師、看護師、薬剤師、福祉関係者等)に対し それぞれの業務に応じた専門研修を実施。

A.石川県 E. 金 額 金 額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 非常勤職員給与 人件費 講師謝金等 謝金 計 5 計 0 B. F. 金 額 (百万円) 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) 費目•使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出さ 計 0 計 0 れている者に れている自に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載) C. G. 金額 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 0 計 0 計 D. Н. 金 額 金 額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 計 計 0 0